

7、緑土会の財政問題とその解決の方向性について

①小林副会長より趣旨説明

- ・ 緑土会活動の活性化により校友会からの支援金の増額が得られる環境となってきた
- ・ また活性化を求めることは当然のことながら一部役員・部員などの負担が大きくなってきている事に繋がっている
- ・ 学年幹事の緑土会活動への積極的かつ実質的な参加が必要である
- ・ かつ交通費など問題のない範囲での支給も検討する必要がある
- ・ この様な趣旨で11月の総会までに大筋の方針を固めて実行に移したい

②皆川財務部会長（副会長兼務）より添付資料に基づき下記項目について説明

- ・ 校友会からの学科同窓会支援費の取り扱いについて
- ・ 校友会総務委員会・事務局への確認結果
- ・ 各企業・団体からの募金の取り扱いについて
- ・ 予算決算方式に変更についての検討

③校友会からの支援金の増額について

・ 一律支援	150000 円	◇ 継続	150000 円
・ 学校の名を高める事業支援	0 円	◇ 緑土会セミナー	500000 円
・ 就職活動支援	320000 円	◇ 学生支援会	350000 円
・ 総会開催支援	0 円	◇	
・ 特別支援	0 円	◇	
合計	470000 円		1000000~1500000 円

④議論

- ・ 決算の方法を来年度より、予算決算方式へ変更する。（承認された）
- ・ 経常費・学術文化基金並びに名簿会計と財布が三つであったが財布を一つにする（承認された）
- ・ 会費徴収をどのようにするか→終年会費か年会費か、寄付金扱いにしては ⇒ 年会費を徴収することは困難が多く、総会における実質寄付を上乗せして参加費とするなども含め、寄付を基本としてゆく（承認された）
- ・ 緑土会の広報誌に希望する企業の広告を記載し、広告収入を得る
- ・ 今まで通り総会または幹事会時に寄付という形でプラスしてもらい徴収する（アピール）
- ・ 経常費、学術文化基金、名簿会計の3つの財布があるが、これを一本化する（承認された）
- ・ 総会準備に学生に手伝ってもらう→アルバイト代を支払う（承認された）
- ・ 寄付金の受け皿を考える
- ・ **総会会費は 5000 円、女性 3000 円、学生 500 円で決定**

皆川財務部会長（副会長兼務）より議事説明

